

はじめに

平成13年度に発足いたしました鹿児島純心女子大学キリスト教文化研究センターも平成22年度で10歳になりました。神さまのお恵みと学内外の多くの方々の支えと御指導を頂いて拙いながら歩みを続けることができましたことを感謝いたします。設立十周年記念企画の中心を「建学の精神の原点に回り創立者の心と人となりを知る」ことに置き、22年度末にシスター江角ヤスの生誕の地をたずねる研修旅行を、23年度にはシスター江角を親しく知る方のお話を基調講演とする公開セミナーを計画しましたが、東日本大震災発生のため旅行は延期となり、2つの企画が23年度に集中する結果となりました。

この日、平成23年3月11日14時から、たまたま本センター主催の平成22年度キリスト教文化研究センター第4回公開セミナー「鹿児島とキリスト教」を実施中で、大学側としてのF・D・S・D研修も兼ねるということで教職員が1堂に集い、五野井隆史先生による基調講演「薩摩国におけるキリスト教宣教の展開」が行われているところでした。テレビ画面に映し出された未曾有の惨状を見て大変心配しましたが、五野井先生は冷静に最後まで講演を続けられ、無事セミナーを終了させていただきました。その後先生の御自宅のある所沢方面は無事であることがわかり一同安心いたしました。お話そのものの質の高さとともに、この日の穏やかなご対応、また、後日、本誌に掲載するためにメモ様の原稿でもとお願い致しましたところ、聖トマス大学大学院の紀要のために準備しておられましたこのご講演に基づく論文を快くお譲り下さいましたことなど、かさねがさね有難く厚くお礼申し上げます。

23年度の研修旅行「学園精神の源を求めて―創立者生い立ちの地を訪う旅」では、広島教区の肥塚神父様をはじめ、私どものグループのために時間を割いて御指導下さいました各地の方々、度重なる変更のお願いに忍耐強く応じて頂きました旅行会社関係、交通関係の方々に感謝いたします。

そして平成24年2月24日「創立者シスター江角ヤス」をテーマとする23年度の公開セミナーには、シスター江角のもとで親しく教員としての薫陶を受けられた山長豊實先生にお出でいただき、「創立者江角ヤス先生」という演題で、面識のない本学教職員にも面影が彷彿とするような人間味豊かなエピソードを色々と聞かせていただきました。質問も出て主催者として願った通りの公開セミナーとなりました事を、講演者をはじめ、参加された皆さま、実施の実務に協力して下さいました事務局の皆さまにキリスト教文化研究センター所員一同よりお礼申し上げたいと思います。

「いのちを育む知性と愛」を目指して歩む本学から、創立者の願いのように「神さまと人にとに喜ばれる」人材が数多く巣立って行きますように、在天のシスター江角のお祈りと見守りを願い、各方面の御指導を仰ぎながら活動を行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

平成24年3月

キリスト教文化研究センター

所長 荒 井 聡 子